

ご門主 表白で非戦・平和の決意

「戦争を支持した宗門の歴史を深く省みて」

本山・終戦70年追悼法要に700人

終戦記念日の8月15日、ご門主、前門さま「70年が経過した今日、

（全文別掲）。

音放送を聞いたことを

日、ご門主、前門さま「70年が経過した今日、ご出座のもと終戦70周年戦没者追悼法要が本山・阿弥陀堂で営まれた。門信徒や僧侶ら700人が参拝し、非戦・平和への思いを新たにしました（写真）。

「70年が経過した今日、ご出座のもと終戦70周年戦没者追悼法要が本山・阿弥陀堂で営まれた。門信徒や僧侶ら700人が参拝し、非戦・平和への思いを新たにしました（写真）。

この後、参拝者全員で阿弥陀経をおつとめし、布教使の花岡静人さんが法話。法要後に参拝者が焼香し、手を合わせた。参拝した大津市の伊藤守浩さん(74)は「8月15日が来ると庭で玉



ご門主の表白(全文)

敬って

大慈大悲の阿弥陀如来の尊前に申し上げます

本日ここに 本願寺 釋 専如

恭しく尊前を荘厳し 参仕の衆僧並びに 有縁の方々と共に 懇ろに聖教を誦読して 終戦70周年戦没者追悼法要を厳修いたします

謹んで思いますに 阿弥陀如来の智慧と慈悲は 南無阿弥陀佛の名号となって 私たちを救おうと 常にはたらき続けてくださいます

それは 智慧も慈悲もなく 自分中心の考えから 敵と味方とを区別し 憎み傷つけ合う 私たちのすがたを 阿弥陀如来は 見抜かれているからであります

顧みますと かつて日本は 国を守るためとして 戦争への道を選び 私たちの宗門も それを支持してきました しかしながら 戦火は国内外で 人々の生活の場をも破壊し おびたらしい生命が失われ 後には大きな痛みと悲しみが 残されました

以来 70年が経過した今日 戦争の記憶が薄れゆく中で 日本の平和への歩みは 重大な局面を迎えています

この法要に際して 戦争で亡くなられた すべての方々の思い 追悼の心を新たにすると共に 私たちの根本的な愚かさ 戦争を支持した宗門の歴史を 深く省みて 絶望や対立を超えて 非戦・平和の決意を 受け継いでいかなければなりません

このうえは いよいよ聞法求道に精進して 阿弥陀如来の 智慧と慈悲を仰ぎつつ 平和な世界を築くために 力を尽くしたいと思います

敬って申し上げます